

漁海況情報

平成 22 年 9 月 16 日 第 19 号 (通巻 452 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【今年のウルメイワシ漁況の見通し】

ウルメイワシの漁況について、現在当センターが入手している情報から今期の予測を行いましたので参考にしてください。

【今後の見通し】

漁獲量：前年（2009 年）を上回る。

（湊市場、2009 年漁獲量 417 トン）。

漁期：小・中羽（全長 15cm 以下）9 月、大羽（全長 15cm 以上）9～10 月。

【予測の根拠】

1. 漁獲量・資源量の長期変動傾向

1) 平成 21 年度第 2 回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報

（平成 22 年 3 月 25 日 水産庁、（独）水産総合研究センター）

2010 年 4～9 月のウルメイワシの来遊水準：前年並み。

2) 湊市場の漁獲動向

浮敷網（棒受網、すくい網）によるウルメイワシの漁獲量は、1989 年をピークに、それ以降減少傾向にある。銘柄は 1989 年までは小・中羽が主体だったが、1990 年を境に大羽の割合が増加している（図 1）。例年、7 月から小・中羽が漁獲されはじめ、9 月から大羽が混じるようになる。

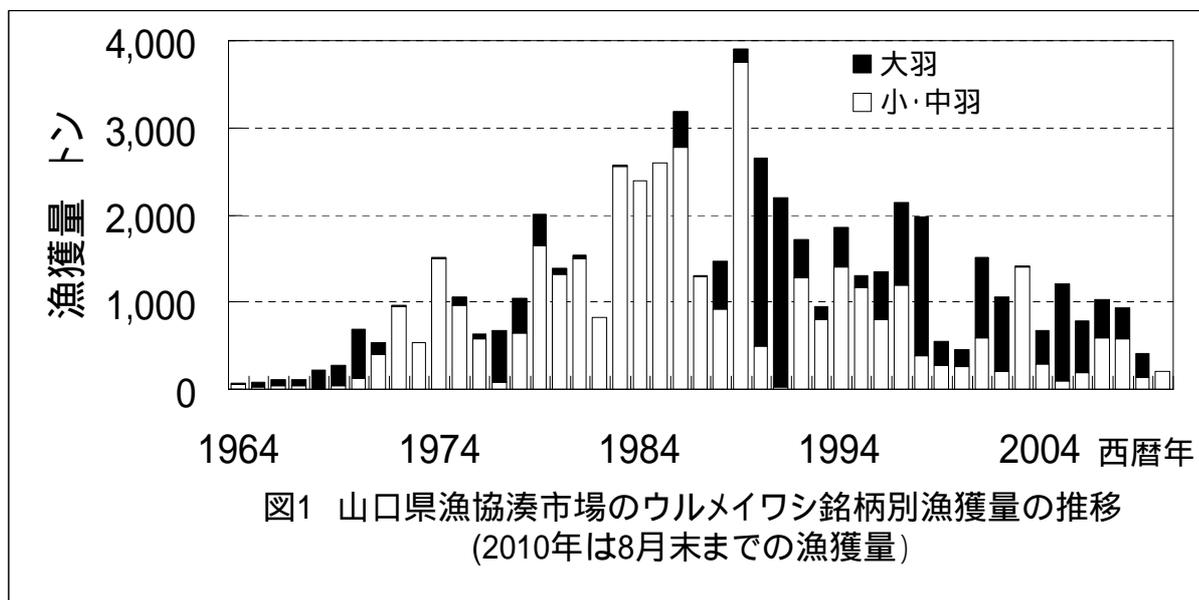


図1 山口県漁協湊市場のウルメイワシ銘柄別漁獲量の推移 (2010年は8月末までの漁獲量)

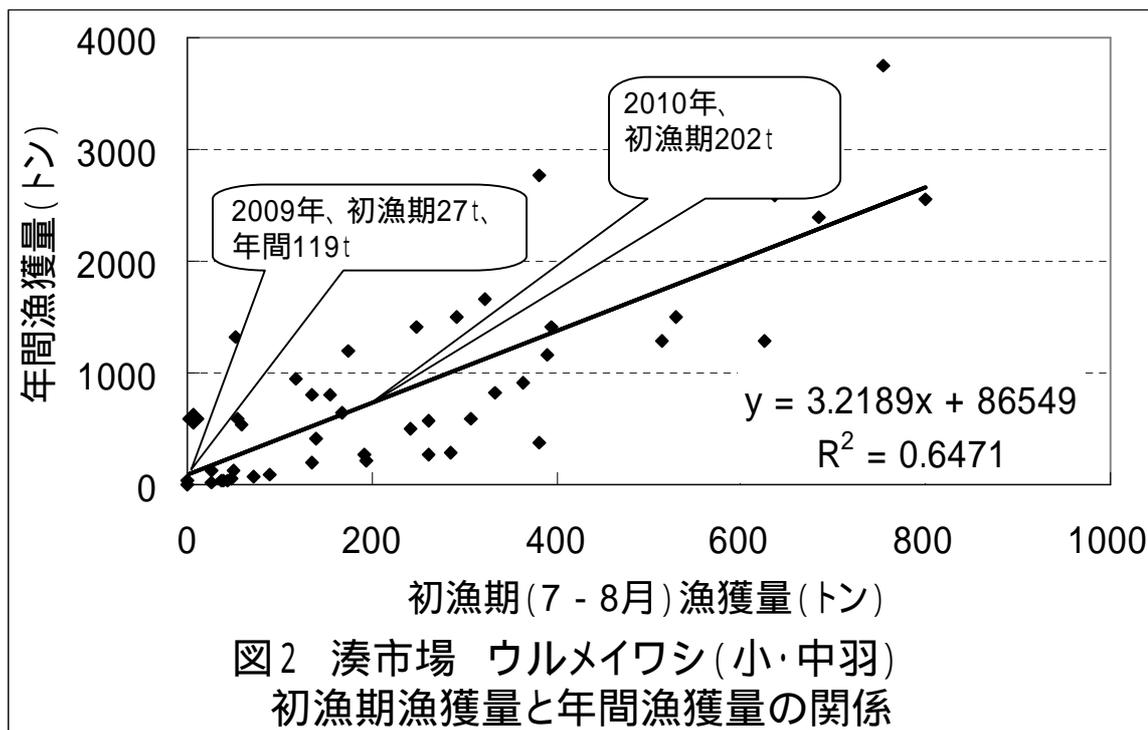
2. 本年の発生量・漁獲量の動向

1) 湊市場の浮敷網による漁獲動向（今年8月末まで）

小・中羽の初漁期は例年7月だが、今年は8月と遅く、8月だけで202トンの水揚げがあった。昨年まとまって水揚げされたウルメ仔（全長5cm以下）は、水揚げされていない。

2) 初漁期漁獲量と年間漁獲量（小中羽）

湊市場の初漁期（7～8月）漁獲量と年間漁獲量との間には正の相関が見られる（図2）。今年7～8月の漁獲量は202トンと既に前年の年間漁獲量を上回っている。



3) 西部各県の今年の漁獲動向

長崎県北松南部海域で操業する中・小型まき網の4～7月期漁獲量は、285トン（前年同期153%）であったが、大羽銘柄のみの水揚げであった（長崎県総合水産試験場発行・漁海況週報より集計）。また、福岡県棒受網の5～8月漁獲量は2.2トンで、前年同期（0.3トン）を大幅に上回った（福岡県水産海洋技術センター資料）。